

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

久喜市立栗橋東中学校

【取組内容⑤】「地域の将来や持続可能性」を検討するために、自ら課題を設定し、GISとGoogleworkspaceを活用しながら考察し、構想、表現する授業実践（実践段階③）

【地域の在り方⑤】

本時の問い：よりよい栗橋の在り方を考えるために、必要なことはどんなことだろうか？

☆グループ活動  
①久喜市に住んでいる市民を対象に行った調査の結果を班でコミュニケーションを取りながら確認しよう！

- 市民調査の結果について、グループで分担して確認していく。
- 自分たちが調査を進めてきたテーマと照らし合わせ、大事な部分に線を引く。

②市民調査にある地域の人の意見は、どのような視点を大切にしているだろうか。話し合うことで、考えを共有しよう

○今後の方策検討の時間  
自分たちが検討した内容と市民調査の結果について確認した内容を照らし合わせ、これからの時間で、どのような考え方をとくに地域を見て、何について調べ直し、最後のまとめにもっていくか。グループ内で検討し、アイデアが出たら、記入しよう！（検討中にGISで調べても構いません！）

☆まず、どの視点を大切にし、どの分野に力を入れていくかについて方向性を定めよう

農業や文化などあまり知らない産業を知りたい活かせる施設やイベントなどの産業の分野がさかえている方向性。→人口を集中させたい

どちらか選ぼう！

よりよい栗橋を実現するために必要な施設、道路、ものは何か、改めて考えよう！

何かを建てる以外に、よりよい栗橋を実現するためにできることは何か、改めて考えよう！

1. 今あるスーパーの2階や地下に第一、二次産業を組み合わせさせた施設を増やす

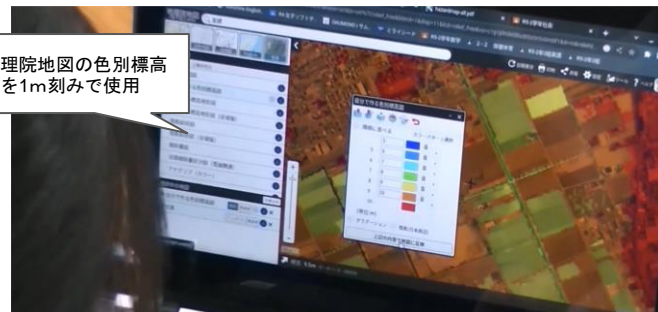
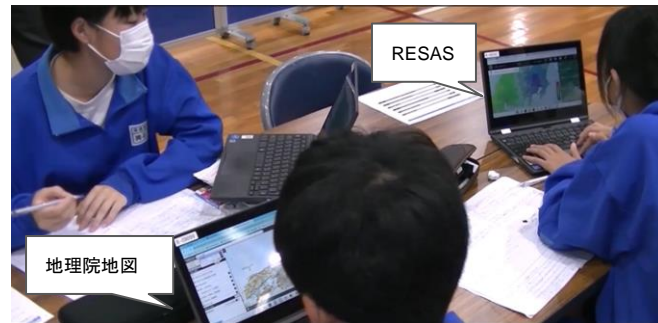
2. 1. 福和町などの歴史・文化とよせ町の産物を活かした施設やイベントを企画する。

栗橋の実態（良さや課題）、話し合い活動の結果を踏まえた上で、改めて調査すべき点は何だろうか？

栗橋は交通網が充実しており、バットタウンとして人口が来ている。そのため魅力のある街にして交通網が疲れて多くの人が訪れるメリットにしてあまり知られていない魅力を活かすための施設や企画をつくる。その施設の設立・企画の考えを本時の振り返り 支援する制度や広めていくための教育施設との連携もしていきたい。

市民調査の結果と照らし合わせることで新たなメリットや新たな視点を見つかることができた。活性化した産業を中心に市民の「理想」を叶えるために必要なことを施設やイベント双方から考えていきたい。

- ①市民調査の結果と自分たちの案とを比べ、十分に検討できている部分と不十分な点を明らかにする。
- ②栗橋の将来について「何をつくれれば良いか」「どんな支援策があれば良いか」という観点から検討する。
- ③今後の再調査に向けた方針を決定していく。



関ブロ久喜大会当日にて。これまでの系統だった学習を活かし、生徒は自由にGISを使いこなし、主体的に情報にアクセスしながら、再調査の方針を検討していった。